

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2014年4月発行

春は別れと出会いの季節ですね。様々な人たちと出会い、その人たちとつながることで人生がさらに豊かになっていくことを実感する毎日です。そして、何かを動かそうとすると、多様な人たちがつながることで、人数分以上の思いもよらぬチカラが発揮されることも日々実感しています。

「はもりあ四日市」は、これからも、一人でも多くの人たちが出会い、つながる場を提供し続けていきます。スタッフ一同、いつでも皆様のお越しをお待ちしています。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

報告 登録グループのつどい

「はもりあフェスタ」開催決定！ 平成27年2月20日（金）～2月22日（日）

3月15日（土）10：00～12：00、はもりあ四日市ミーティングフロアにおいて、登録グループ23団体35名のみなさまにご参加いただき、「登録グループのつどい」を開催しました。

まず、「はもりあフェスタ」の振り返りをパワーポイントで行いました。その後、参加グループから、「はもりあフェスタ」について良かった点や改善してほしい点など、様々なご意見をいただきました。

また、今回の「つどい」で平成26年度はもりあフェスタの日程も決定いたしました。



<研修の様子>

男女共同参画研修 つどいの後半は、坂倉加代子さん（NPO 法人四日市男女共同参画研究所代表）から「防災と貧困から見た男女共同参画」をテーマにお話しをいただきました。

【防災とまちづくり、そして男女共同参画】

東日本大震災の被災地では、防災活動に女性が参画できていないために様々な課題が浮かび上がってきている。例えば、災害用の備蓄品を決めているのはほとんどが男性で、女性のニーズを十分に反映できていないという課題について、阪神淡路大震災のときに、避難所に生理用品やショーツ類（特にL～3L等大きなサイズのものを）をサイズごとに分類して送ったことが、非常に喜ばれたというエピソードを紹介され、「こうした気遣いは女性でないとできないこと」と話されました。他にも、避難所等で性暴力が多く発生し、しかも非常時だからと片づけられてしまったことなど、あまり報道されていない課題についてもお話がありました。

四日市市では、こうした課題に対応するために内閣府がまとめた「男女共同参画の視点からの防災・復興取組指針」を市民に知ってもらい、防災活動への女性の参画をすすめる取り組みを始めているというお話でした。

【女性の貧困】

「女性の貧困」は、発展途上国の話ではなく、先進国のこの日本にある問題。日本の貧困率は世界第4位。中でも「ひとり親家庭」の貧困率は世界第2位である。「女性の貧困」は、そのまま「子どもの貧困」の問題でもあり、多くのシングルマザーたちが、多くの困難を抱えて生活しているというお話でした。そして、女性の貧困の根っこは、「男は仕事・女は家庭」という考え方の下で賃金体系や社会システムが作られていることにあり、それを変えていくために、今“男女共同参画社会”を目指して社会は動き始めているというお話でした。



<交流会の様子>

研修終了後の交流会では、各グループの活動等の紹介、情報交換、はもりあフェスタの話、研修の内容についての話など、いろいろな話題で大変盛り上がりました。また、参加者アンケートからは「いろんなグループの人の活動や話を聞いて良かった。いろんな活動が点ではなく面になればいいと思う」「もっとグループの方とお話しさせていただきたいと思いました」などの意見をいただきました。今後も、「はもりあ四日市」がこうしたグループ同士の交流の場となるよう、みなさんが利用しやすいセンターを目指していききたいと思います。



平成25年度 四日市市「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰

3月26日(水)に大賞を受賞した2社の表彰式が行われました。

四日市市では、男女がいきいきと働き続けられる環境づくりを推進している企業の功績を顕彰するとともに、こうした取り組みについて広く市民の皆さんに知っていただくために、表彰を行っています。

株式会社 三重銀行

法律の規定を上回る育児休業期間の設定

最大で子どもが3歳に達するまで育児休業を取得することが可能。(法律の規定では最大1歳6カ月まで)

出産や育児による退職者の再雇用制度の導入

出産や育児を理由に退職した従業員が退職後に復職を望む場合に、原則退職時と同様の処遇で再雇用する「育児再雇用制度」の導入。

女性管理職の登用

女性の管理職登用を進めており、女性従業員551人中、部長級5人、課長級30人、係長級13人で、過去5年間で増加し続けている。



サイバーネット・コミュニケーションズ株式会社

柔軟な勤務形態

社員が仕事を長く続けられるよう、年次有給休暇の部分取得や在宅勤務等、ライフスタイルに合わせた柔軟な勤務形態を認めている。

メンタルケア等の相談体制の整備

メンタルケア等様々な悩みを社外のカウンセラーに相談できる体制を導入している。これまで不定期だった面談日を、3月からは定期的に設定。

能力開発のための資格取得助成制度

社員の能力を開発し、性別によらない能力本位の業務体制を確立するため、会社が定めた資格の取得者に報奨金を支給。



ワーク・ライフ・バランスをすすめることは、企業にとっても、そこで働く人にとっても、プラス[★]に

「ワーク・ライフ・バランス」とは、直訳すると、「仕事と生活の調和」という意味で、男性も女性も共に、仕事、家事(育児・介護)、地域活動などさまざまな活動を自分の希望するペースで進められる社会を目指すものです。今回表彰を受けた企業は、ワーク・ライフ・バランスを進めるための様々な工夫や取り組みを行っている企業です。これらの取り組みは、女性だけでなく男性にとっても働きやすく、家庭や地域社会活動、趣味に時間を使える生き方を可能にします。私生活を充実させると、仕事の生産性も向上する傾向にあることは、これまでの先進的な取り組みから実証されており、企業にとってもプラスになる取り組みです。四日市市では、企業のような取り組みをこれからも応援していきます。

報告

育児と仕事を両立させるための ★お仕事探しセミナー★

が開催されました。

★3月11日に、ハローワーク四日市、マザーズコーナー四日市、三重労働局との共催で、子育て中やひとり親家庭等で早期再就職を考えている女性を対象に、お仕事探しセミナーを開催しました。

★セミナーは3部構成で、「就職に関する情報等のお話」、「はもりあ四日市での女性支援事業について」、「パートタイム労働法と子育てと仕事の両立について」のお話をいただきました。

★21名(託児は18名)の参加があり、熱心に受講されていました。育児をしながらも再就職を考えている方がたくさんみえることがわかりました。はもりあ四日市では、これからも女性の経済的自立を応援していきます。





男性の相談員による 男性のための電話相談



平成 26 年 4 月からの「男性のための電話相談」のご案内です。

〈男性相談専用電話〉

059-354-1070

男性からの悩みの相談を、男性の相談員がお聴きします。
(ひとり 30 分程度)

相談内容は、自分の性格や生き方、夫婦関係、子どものこと、
性・セクシャリティなど何でもかまいません。

市内にお住まい、または通勤、通学している男性なら、どなたでも利用で
きます。

匿名で OK です。プライバシーは厳守します。
相談は無料です。

男だからといって、
がんばりすぎていませんか。
生き方、家庭の問題、
仕事や健康の悩みなど、
電話で相談してみませんか。
お気軽にお電話ください。



《相談日》

原則 毎月第 2 土曜日
(5月と2月はお休みします)

- 4 月 12 日 (土)
- 6 月 14 日 (土)
- 7 月 12 日 (土)
- 8 月 9 日 (土)
- 9 月 13 日 (土)
- 10 月 11 日 (土)
- 11 月 8 日 (土)
- 12 月 13 日 (土)
- 1 月 10 日 (土)
- 3 月 14 日 (土)

《時間》

12:00~14:00

今月の数字

6 %

この数字は「マタニティハラスメント(マタハラ)」という言葉と意味について知っている人の割合(認知度)です。(日本労働組合総連合会が平成 25 年 5 月実施したインターネットによる意識調査より)

「マタハラ」とは、セクハラ、パワハラと並ぶ 3 大ハラスメント(嫌がらせ)の一つで、働いている女性が妊娠・出産を機に、解雇や契約打ち切り、自主退職への誘導をされたり、心ない言動を受けたりすることです。

この調査では、全体の半数が「産休・育休の権利は法律で守られている」ということを知らないこと、また、妊娠経験者の 4 人に 1 人が「マタハラ」を受けた経験があるということも明らかになりました。「マタハラ」被害に遭っていると気づかずに、仕事を辞めてしまう女性も多いようです。悪意がなくても「マタハラ」になるということを知ってもらい、妊娠・出産した女性が、仕事を続けられる環境を社会全体でつくっていくことが重要になります。



参考文献：日本労働組合総連合会 働くみんなのマタハラ手帳

男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

3 月 3 日に参議院議員会館でおこなわれた、東日本大震災女性支援ネットワーク主催の『女性支援から女性の参画へー災害に強い社会に向けて』の報告会に行ってきました。

震災の直後から女性たちの声を集めて立ちあがったこのネットワークは、男女共同参画の視点を復興と防災に活かした 3 年間の活動の中で、いろいろな女性支援があることを知ってもらったこと、震災のあと起こった(暴力など)ことを、全国に伝え共有できたことなどを報告し、男女共同参画の視点を持った支援者による、男女共同参画視点のある支援を！と提言しました。また、この会に協力議員室として超党派の女性議員が多数列席し、「女性はコミュニケーション能力が高い」ことや「意思決定の場へ女性を」と話されていたのが印象的でした。地域からの発言の場で、当男女共同参画課の伊藤課長が、四日市市の昨年からの取り組み「防災とまちづくり、そして男女共同参画」について報告しました。

【担当：Y】

(^_^)日本橋の“三重テラス”へも行ってきました。

登録グループイベント情報

4月23日(水)



子育ておしゃべり会 だめママクラブ

一生懸命やっているのに...うまくいかないことがありますよね。人と話をして、自分は間違っていないと確認したり、自分とは違う考え方を知ったりできると少し気持ちも変わるかな。ぜひ、あなたの話も聞かせてください。

時 10時～12時 所 本町プラザ3階「はもりあ四日市」こどものへや

費 300円(茶菓子代) 予約はいりません。お子様連れでお気軽にどうぞ!

問 子育てグループままたまご 北川まで(090-6091-8581)

5月2日(金)

～加齢及び身体的疾患による尿失禁(尿もれ)の予防、改善～

1. 骨盤底筋を強くする体操をします(ビデオ体操)

2. 講師による家庭で出来る体操指導

3. お茶を飲んで、ひとやすみ!

時 13時30分～15時 所 本町プラザ3階「はもりあ四日市」こどものへや

費 無料 問 コンチネンス学習会 八木まで 携帯 090-7307-6865



登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は

姿勢バランスこんなに良くして委員会

さんです。 代表 小黒千鶴

連絡先 090-6360-8529

みなさんはご自分の姿勢は良いと思いますか?鏡に映った自分の姿勢・・・

「なんか右肩が下がってるよね」「写真を撮る時いつも顔が傾いているのよ!」「いつも膝が曲がっていて、シャンとしなのよね」な～んていう声、あちこちで聞かれます。

その痛み、不調はひょっとして「姿勢の歪み」から来ているのかも知れません。“姿勢科学の理論”からの、ちゃんとした姿勢のお話を聞いてみませんか?痛みや不具合があり、どこへ行ったら良いのか分からず、専門外のところへ行き、結局悪くなった!という方々のために、四日市の街角スペースをお借りして、姿勢のお話をする活動をしています。

姿勢を良くする体操も毎回やります! 興味のある方はぜひ、ご参加ください!

テーマ ～～肩こり・姿勢美・背骨と自律神経・ぎっくり腰予防・ネコ背と総集編～～

日時: 毎月第2金曜日(4月から全5回) 10時～11時

場所: 本町プラザ3階 はもりあ四日市会議室 費用: 500円/1回(要予約)

申問: 姿勢バランスこんなに良くして委員会 小黒まで 携帯 090-6360-8529

4月11日(金)は、枕を作りますので、バスタオルと髪留めのゴム2本お持ちください。

あとがき

伊藤所長が川島地区市民センター館長として異動することになりました。(「3年間お世話になりました。」伊藤) 4月からは川尻新所長と共に、スタッフ全員、気持ちも新たにがんばります。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>